

# 湯来ふるさと新聞

第64号(平成22年8月21日発行)

738-0513  
広島市佐伯区  
湯来町伏谷 535  
湯来ふるさと  
プロジェクト  
☎0829-86-1439

**今年も「湯来の森」を清掃**  
7月31日(土)に、女性会のメンバーを中心に、今年も「湯来の森」の清掃を行いました。参加者は18人で、初参加の人もありました。毎年のことで皆さん手際よく、いい汗をかき、湯来の森がさっばりすると、清々しい気持ちになりました。

掃除後は原爆慰霊碑に参拝して、湯来へ。来年は、一緒に清掃してくれる人をもっと増やそうと思いました。そして、たくさんの人に、湯来の森を知ってほしいと思います。(女性会)



## 八幡川峡バス停のころの草を取りました

7月31日(土)に、八幡川峡バス停のころの草取りをしました。今年の夏はとても

暑く、いつにもまして水がないのでしよう。マリーゴールドはやせ細って草に埋もれていました。草を切り、草を取ると何かいい感じに…。もっと土があって、水があつたらいいのにどうにもできないのであります。もつちよっと、気にかけてやりましょう。



あじさいの花もシーズンが終わりました。花柄摘みを近々行います。

## 菜園プランターに植えた花が出番を待っています

7月中旬に、井口台にお住まいの方から頂いた菜園用プランターに、花を植えて育てています。花は「メランポジウム」と「マリーゴールド」と「コスモス」です。花の色はいずれも黄色です。今年のような猛暑では、いくら大きめのプランターとはいえ毎日の水やりが必要

です。少しは涼しくなるであろう9月12日(日)の午後、県道沿いに移動させます。土が入った菜園用プランターはとても重く、運搬にはトラックが必要で、都合の付く人は、ご協力。



60個あまりありあるプランターには、「花を植えています湯来ふるさとプロジェクト」のステッカーを貼ります。花の背丈が高くなっています。先日の台風時には、風をうけて一本折れたので、慌てて屋内にプランターを運び込みました。運搬時には注意が必要です。

## 葉ポタンの苗を育てています

寒いシーズンに彩る葉ポタン。ただ今、苗を育てています。7月下旬に種をまいて、8月上旬に育苗ポットに移植して、今日まで毎日、水やりをしています。そろそろ2度目の予防時期です。枯れたり、害虫に食べられたりしないように、毎日ハラハラしています。苗の数は約450本。メランポジウムとマリーゴールドなどの後には、この葉ポタンを、待避所やプランターに植えようと思っています。大きく育ちますように…。

大前さんから頂いたアジサイの苗も枯れないように注意しています。こちらでも早く地面に植えたいですね。



## 回転釜を湯来プロ仕様に戻す



左の写真は、山形商工会議所青年部の出張・貸出用大鍋です。今年も9月5日(日)に山形市馬見ヶ崎河川敷で「日本一の芋煮会」が行われます。ここで使われる大鍋は、直径6.5mという巨大なものです。出張・貸出用の大鍋は、直径3.5mと2.5mの2種類です。

湯来プロも町外のイベントなどに大釜を持ち出して、湯来さんにやくの美味しさをアピールしたいと考えています。そこで、しばらくの間倉庫で眠っていた回転釜を使えるように改修します！改修が終わるま

で、その姿はシークレット！この期待！

## お知らせ

- 秋の狐原山作業を9月12日(日)に行います。(少雨決行、荒天の時は朝6時半に判断して、19日(日)に延期) 時間は、朝8時半から午前中のみ。主な作業は草刈り、里山整備、植生の確認などです。簡単な昼食を用意します。みんなでいただきます。準備の都合がありますので、参加できる人は、9月8日(水)までに連絡を。(留守電・FAX 0829・86・1439、平手機帯090・1833・4626)
- 9月の定例会は、狐原山作業の後に行います。
- 9月定例会終了後、プランターを県道沿いに運びます。
- 9月30日(木)午後6時半から、佐伯区民文化センターで開催されるタウンミーティング(市長の地域懇談会)。(ここで、砂谷(株)の久保太一郎さんと、広島蝶鮫の藤本一義さんが事例発表されます。タウンミーティングのテーマは「区の資源を活かしたまちづくりの推進」です。手話通訳、要約筆記もあります。参加は無料(先着150人)。参加を希望される方は、電話、ファックス、電子メールで、広島市役所広報課行政情報担当まで。(☎082・504・2802、FAX 082・504・2067) 詳しくは市HPで。